

公益社団法人 日本水産学会  
令和3年度第2回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年4月28日(水)13時00分～14時38分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名、定足数 9名

4 出席理事総数 12名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二、吉崎悟朗、潮秀樹、八木信行、廣野育生、山下洋、  
佐野元彦、越塩俊介、落合芳博、小島隆人、澤山茂樹、野田幹雄

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

坂本崇、二羽恭介、澤山英太郎、甘糟和男、長阪玲子、小山寛喜

7 オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、團重樹、壁谷尚樹

8 議案

決議事項

第1号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

第2号議案 「水産増殖懇話会委員会委員の交代」の件

第3号議案 「後援」の件

第4号議案 「入会承認」の件

報告事項

① 令和3年度第1回理事会以降の職務執行状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及びWeb会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[退任] 森 隆史 [選出] 井ノ原康太

第2号議案 「水産増殖懇話会委員会委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[退任] 長谷川敦子 [選出] 小野 淳

第3号議案 「後援」の件

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援を可決した。

① 第15回国際カイアシ類学会

主 催 国際カイアシ類研究者連合、広島大学大学院統合生命科学研究科

共 催 日本プランクトン学会

後 援 日本ベントス学会 他5学協会（予定）

日 程 令和6年6月2日～7日

場 所 広島国際会議場（広島県広島市）

希 望 後援

負担金 なし

第4号議案 「入会承認」の件

吉崎総務担当理事から、入会承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

（報告事項）

① 令和3年度第1回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、以下の報告があった。

1) 水産・海洋科学研究連絡協議会については特段報告事項なし。

2) 令和3年度第1回理事会第11号議案にて承認された「臨海生物適応ネットワーク共同研究拠点申請への要望書」が提出されなかったことが報告された。

3) 令和3年度日本水産学会春季大会のアンケート中間結果についての報告があった。

・庶務関係

吉崎担当理事から、以下の後援について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ3)を適用したとの報告があった。

① 令和3年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業

主 催 岩手県

協 賛 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 他3団体

後 援 宮古市 他38団体

希 望 後援

負担金 なし

② 第 40 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主 催 朝日新聞社、朝日学生新聞社

後 援 文部科学省 他 4 団体

協 力 日本動物園水族館協会

協 賛 日本水産株式会社

希 望 後援

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から、令和 3 年度日本水産学会春季大会の高校生によるポスター発表について、オンラインで 10 会場に分かれての開催であったため、最優秀賞、優秀賞および奨励賞がそれぞれ 10 件ずつ選出されたので、最優秀賞を受賞した高校 10 件分の紹介を日本水産学会誌に掲載することを企画広報委員会において予定していることが報告された。

・財務関係

八木担当理事から、令和 3 年 5 月 10 日に行われる総会の準備作業を行っていることが報告された。

・編集関係

潮担当理事から、3 月 29 日に編集委員会が開催され、科研費によるオープンアクセスの総説執筆者の選定および今年度の審議予定の事項についての整理が行われたことが報告された。論文賞の選考に関わる過程について見直す予定であることが報告された。また、Springer から author dashboard 機能の適用に関する連絡が来ていることが報告された。

・学会賞関係

山下担当理事から、5 月 28 日締切りの日本農学進歩賞受賞候補者の推薦募集を開始したことが報告された。

・シンポジウム関係

落合担当理事から、令和 3 年度日本水産学会秋季大会で 1 件のミニシンポジウムが開催される予定であることが報告された。

・出版関係

落合担当理事から、e-水産学シリーズ第 2 巻が 3 月 25 日に出版されたことが報告された。

・水産技術誌監修関係

金子会長 特になし

・国際交流関係

越塩担当理事 特になし

・水産教育関係

山下担当理事 特になし

・水産政策関係

八木担当理事 特になし

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、春季大会初日に開催された漁業懇話会講演会の参加者が

94名であったことが報告された。

・水産利用関係

金子会長から、以下の報告があった。

- 1) 委員交代および副委員長指名を行った。
- 2) 2020年度事業実績および2021年度事業計画を報告した。
- 3) 2021年度水産利用懇話会講演会の実施時期や実施方法を協議している。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、昨年度の活動報告および今年度の活動予定がメール会議にて審議されていることが報告された。

・水圏環境関係

澤山担当理事から、オンラインにて6月開催予定の令和3年度沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムについての内容を検討していることが報告された。

・男女共同参画関係

金子会長 特になし

・水産学若手の会関係

潮担当理事から、3月19日および27日に委員会が開催されたことが報告された。水産学会春季大会にて行ったシンポジウムの参加者数および発表のない学部学生の無料化についての報告がされた。

・社会連携関係

金子会長 特になし

・将来計画関係

越塩担当理事 特になし

・北海道支部、地域連携関係

金子会長 特になし

・東北支部、地域連携関係

落合担当理事 特になし

・関東支部、地域連携関係

小島担当理事から、日本大学にて開催予定の令和4年度日本水産学会春季大会の実行委員会を立ち上げたこと、および対面開催かオンライン開催かは検討中であるがどちらでも対応できるように準備を進めていることが報告された。

・中部支部、地域連携関係

金子会長 特になし

・近畿支部、地域連携関係

澤山担当理事 特になし

・中国・四国支部、地域連携関係

野田担当理事 特になし

・九州支部、地域連携関係

金子会長 特になし

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし

・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事 特になし

オブザーバーとして参加している各幹事候補者からの挨拶があった。

② その他確認事項

(1) 令和3年度定時社員総会資料の確認

吉崎総務担当理事及び八木財務担当理事から、令和3年度定時社員総会資料の説明があり、令和2年度事業報告及び会計報告、令和3年度事業計画及び予算案を出席理事全員で確認した。本件について以下の質疑があった。

金子会長「コロナ禍での予算編成についてお聞きしたい。」

八木理事「コロナ前よりは金額を抑えているが、昨年度に実際に使用した金額よりは多くしている。大幅に減少した旅費・交通費および会議費については、昨年度よりも多めにしたが、従来よりは少なくしている。」

(2) 委任状及び議決権行使書の回収について

吉崎総務担当理事から、総会に関して正会員数が2,591名で総会の成立条件である過半数の1,296名の出席が必要となるが、4月28日現在提出されている委任状及び議決権行使書が1,124名分であることが報告された。

(3) 次回の理事会について

吉崎総務担当理事から、次回理事会は令和3年5月10日の総会終了後にWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

本件について以下の質疑があった。

八木理事「総会では財務担当理事もWeb会議システムではなく、会場にて参加したほうが良いか。」

金子会長「会長、総務および財務は会場にいた方が良いでしょう。」

八木理事「承知した。」

金子会長「総会時には緊急事態宣言は解除されているのか。」

吉崎理事「まだ緊急事態宣言中である。」

金子会長「場合によってはWeb会議システムでの参加でも良いかも知れない。」

吉崎理事「オンラインでも問題ないのではないか。意見のある会員は会場への出席をお願いしているので、会場での対応の方が楽かも知れない。簡潔な質問であれば、オンラインでも問題ないと考える。」

金子会長「必ず会場で参加しなければならないということではないので、融通を利かせて貰いたい。」

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時38分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年4月28日

公益社団法人 日本水産学会  
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事